


# ほっけもん

301 副反応? 



お茶好きの母に供える今朝の茶に  
一言添えぬ「母さん新茶だよ」 坂元つる子  
拉致されし同僚の男生死不明  
七十六年前の平壤の恐怖 穂園芳江  
キエフがキーウに呼び名変わろうと  
玉ねぎのごと命捨てらる 山上海征  
入院して三十四日経ち爪五ミリ  
退院三日後やうやうと切る 原田葉子  
見てもなおまだ飽きたらぬアマリリス  
一人眺めて花を愛しむ 実吉安仁  
少し開く病窓よりの風干し草の  
乾く匂いを運び来るなり 本後淑子

## 大崎短歌会

兼題「自由」

柄のながき鍬一本を杖として  
庭歩きする花めぐりする  
奏でたる「埴生の宿」や胸に染む  
ビルマの豎琴平和の鍵に  
上南紀子  
馬場みさ  
薩摩郷句 兼題「木強者」  
木強者 ヨットで世界ゆ 一人旅  
(唱) 寂んねも無か ぼっけなもんじや  
上村牛歩  
西郷どんな 鹿兒島一の 木強者  
(唱) 強いし優しい 良か世を作っ  
上窪小絵

家造いに 頭金も無 木強者  
(唱) 保険も掛けたし 心配やいらん  
長重リリー  
生きた蛇ぶ マフラいしちよい 木強者  
(唱) 考げた分で 怖気ん無こつ  
諸木小春  
亭主の実家 木強嫁女あ 大ジヨツキ  
(唱) 義親父と差しで グイグイ飲じよつ  
遠矢耐多  
知床ん 木強な船出で 客か哀れ  
(唱) 荒れた海ちゆが 解らんか社長  
藤元鬼瓦  
津波予報へ サーフインしちよい 木強者  
(唱) 危ねが上がり 津波が来つど  
西ノ園ひらり  
木強者 亭主ん悪口を 郷句い出せつ  
(唱) 掲載った広報い 立腹けちよい亭主  
北村虎王  
雷にや 恐ろしどま無 木強者  
(唱) ゴロゴロなんだ 平気な娘  
満石うらら  
爺い頑張れ 消ゆい昭和ん 木強者  
(唱) 頑固で木強 昭和ん男  
諸木美舟  
デパートで もちつと値引けち 木強者  
(唱) 恥ねで言なち 周囲やたじたじ  
二見愚楽満